

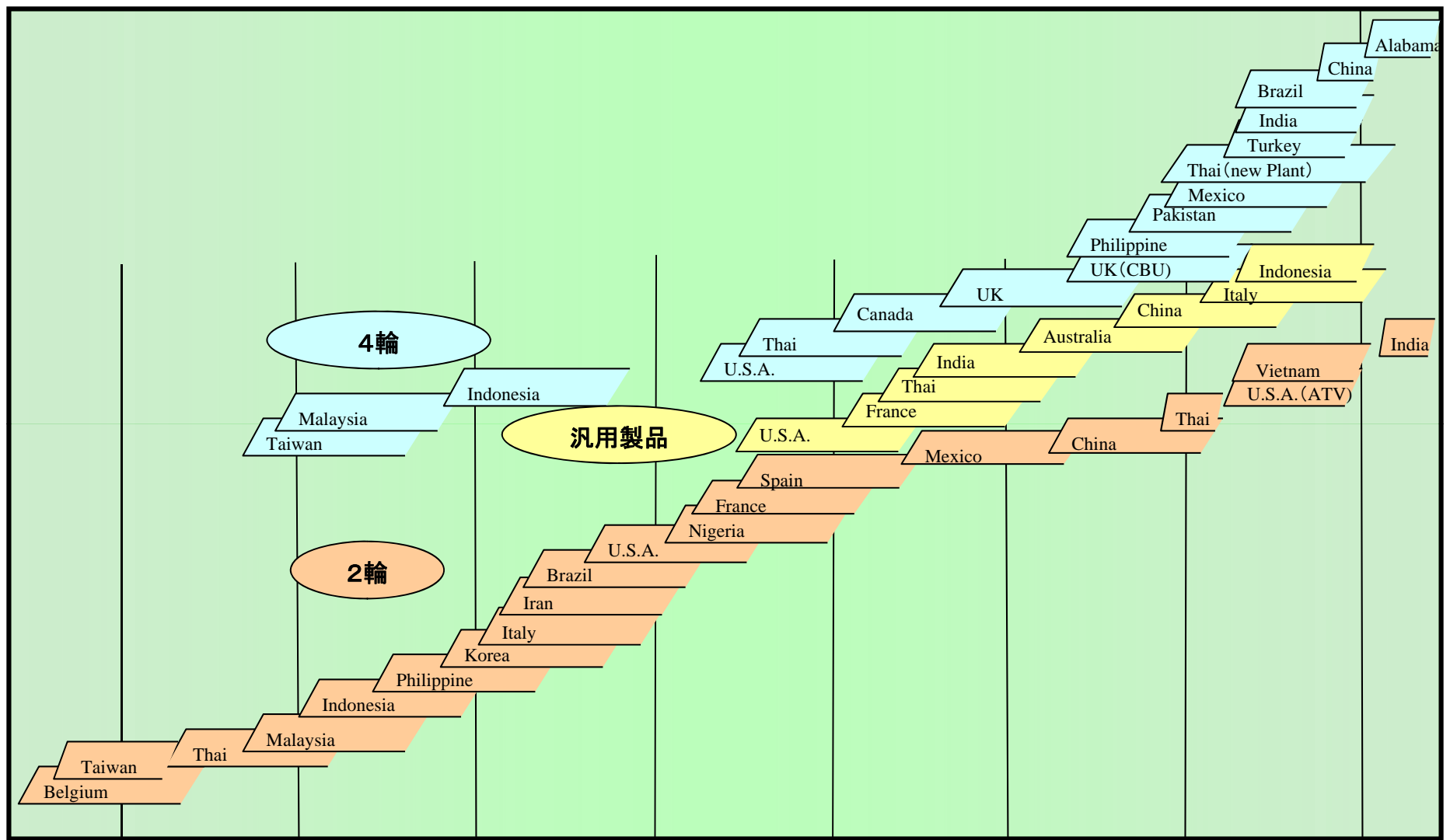
海外ビジネスと知財人材

海外事業展開に向けて求められる
国際知財人材とその育成



本田技研工業株式会社
知的財産部
川村 裕一郎

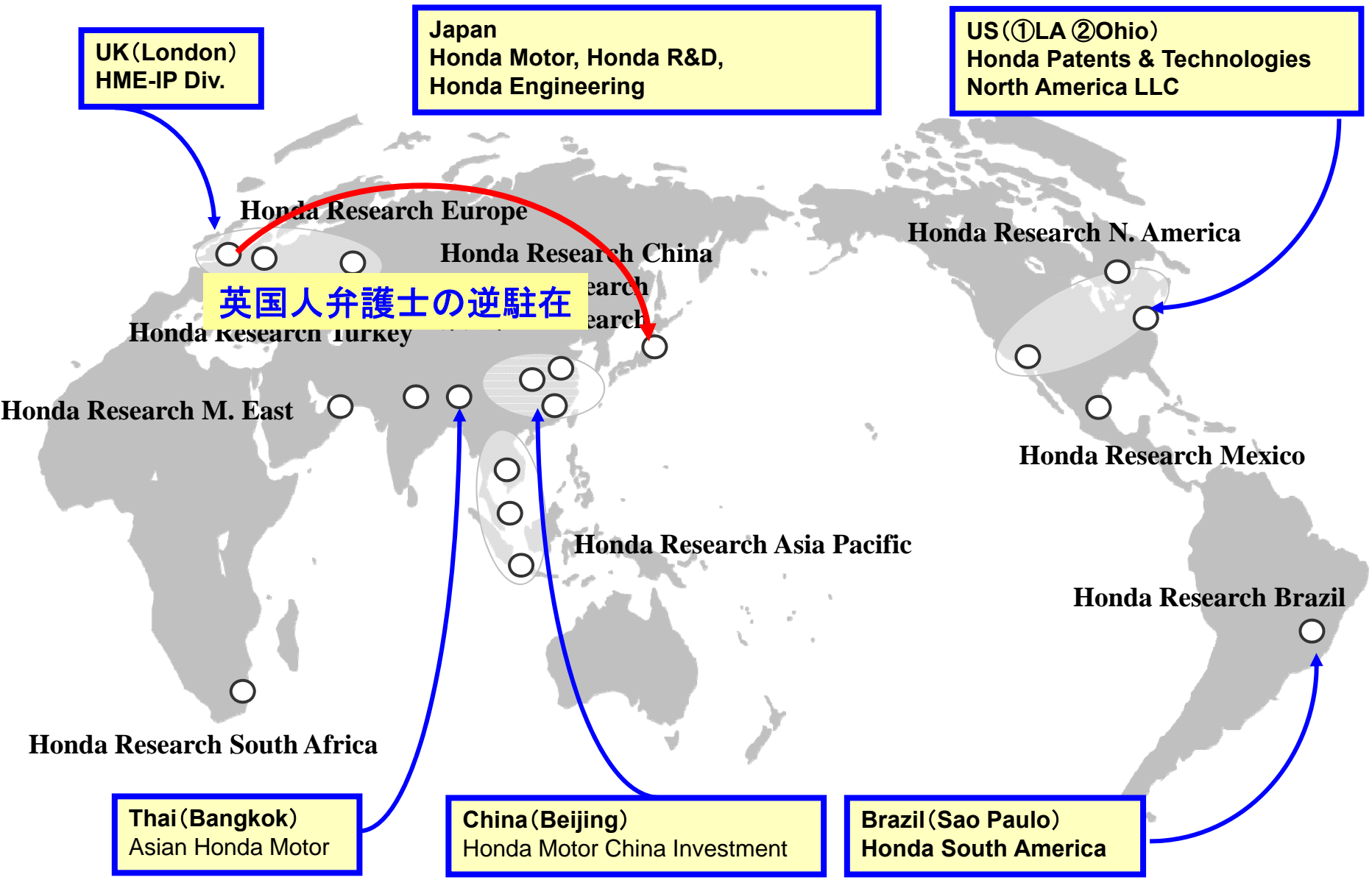
海外進出の歴史



1963 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 00 01 02

海外進出は技術移転の連続

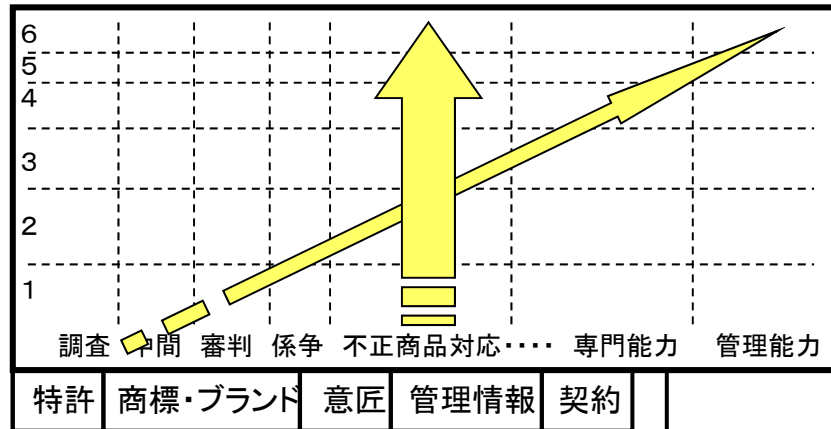
海外4輪研究と知財機能拠点



分科会： 人材の専門能力育成・マネジメント

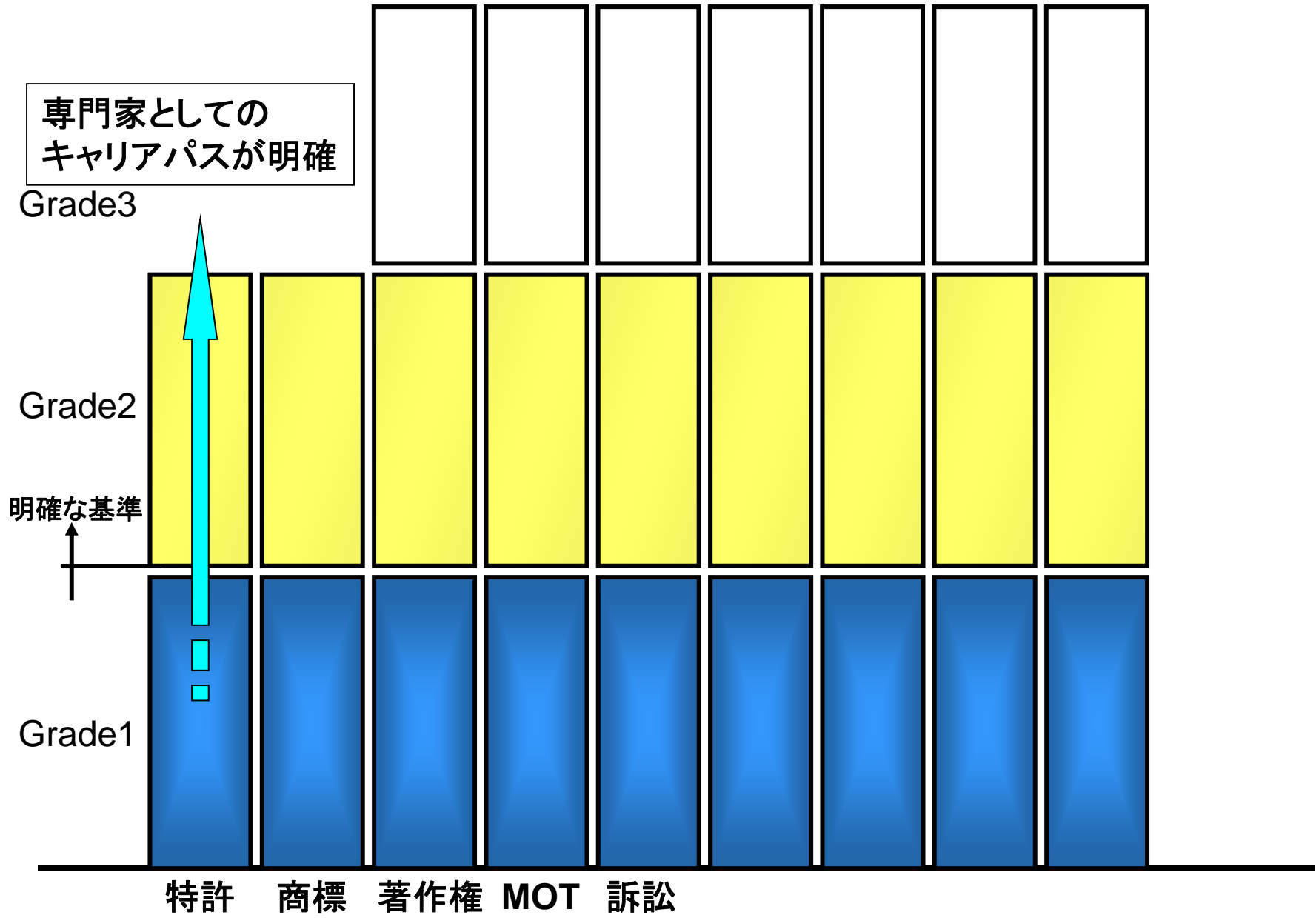
知的財産分科会：

- ① Hondaの中の知財を専門とする社員の人資源管理（「知財主幹」）
- ② Hondaの中の知財を専門とする社員の育成計画企画
- ③ Hondaの中の知財を専門とする社員の異動・一定レベル迄の昇格審査



知財部門を離れて、他部門へ異動した後も、本人の希望により知財分科会に所属し、人材の育成や管理を継続することも可能

欧米型の人マネージメント:



日本型の人マネージメント:

知財専門家としてのキャリアパスが幅広い知識経験を求められる傾向がある

特許技術型人材

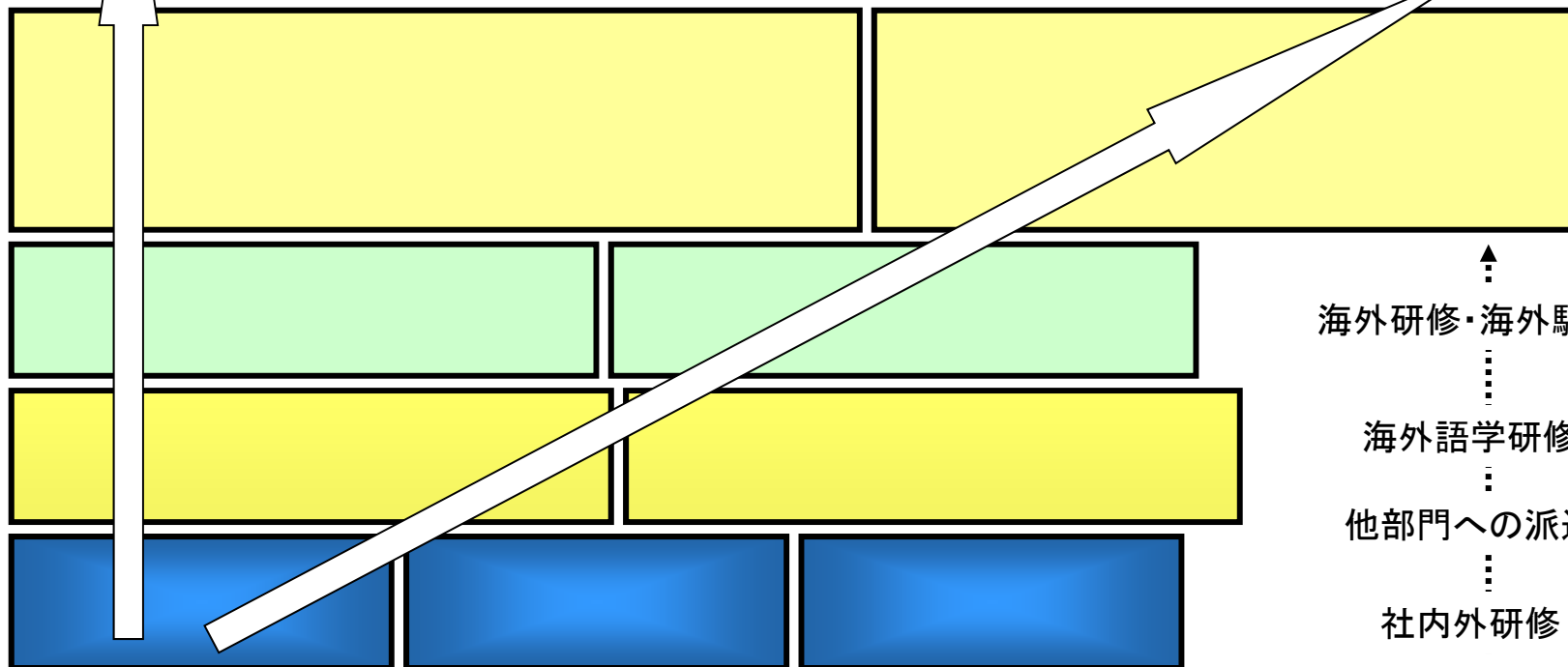
係争訴訟型人材

技術契約・MOT型人材

ソフト知財型人材

意匠・商標・著作権

知財管理・情報管理型人材



特許・意匠

商標 著作権

契約 ノウハウ管理 MOT 訴訟

海外研修・海外駐在

海外語学研修

他部門への派遣

社内外研修

海外拠点知財機能逆駐在制度

・海外知財機能拠点の殆どが、日本人駐在員を中心とした組織形態

初期： 日本人駐在員のみ

発展期： 日本人MG＋現地スタッフ（弁護士、他）

拡大期： 日本人MG＋現地MG＋現地スタッフ

業務：

- ・現地開発サポート（調査）、知財創出（特許、意匠）
- ・不正商品対応（係争、訴訟、税関対応、水際差止め）
- ・商標（リエゾン機能、現地商標権利化、他社権利対応）
- ・ブランド（ガイドライン啓蒙、遵守モニタリング、リエゾン）
- ・契約（現地技術開発契約、生産ライセンス、知財ライセンス）
- ・ドメインネーム（不正登録対応、地域内関係会社対応）
- ・渉外（現地政府機関、特許庁、関係諸官庁、産業団体対応）
- ・グループ会社内啓蒙・啓発

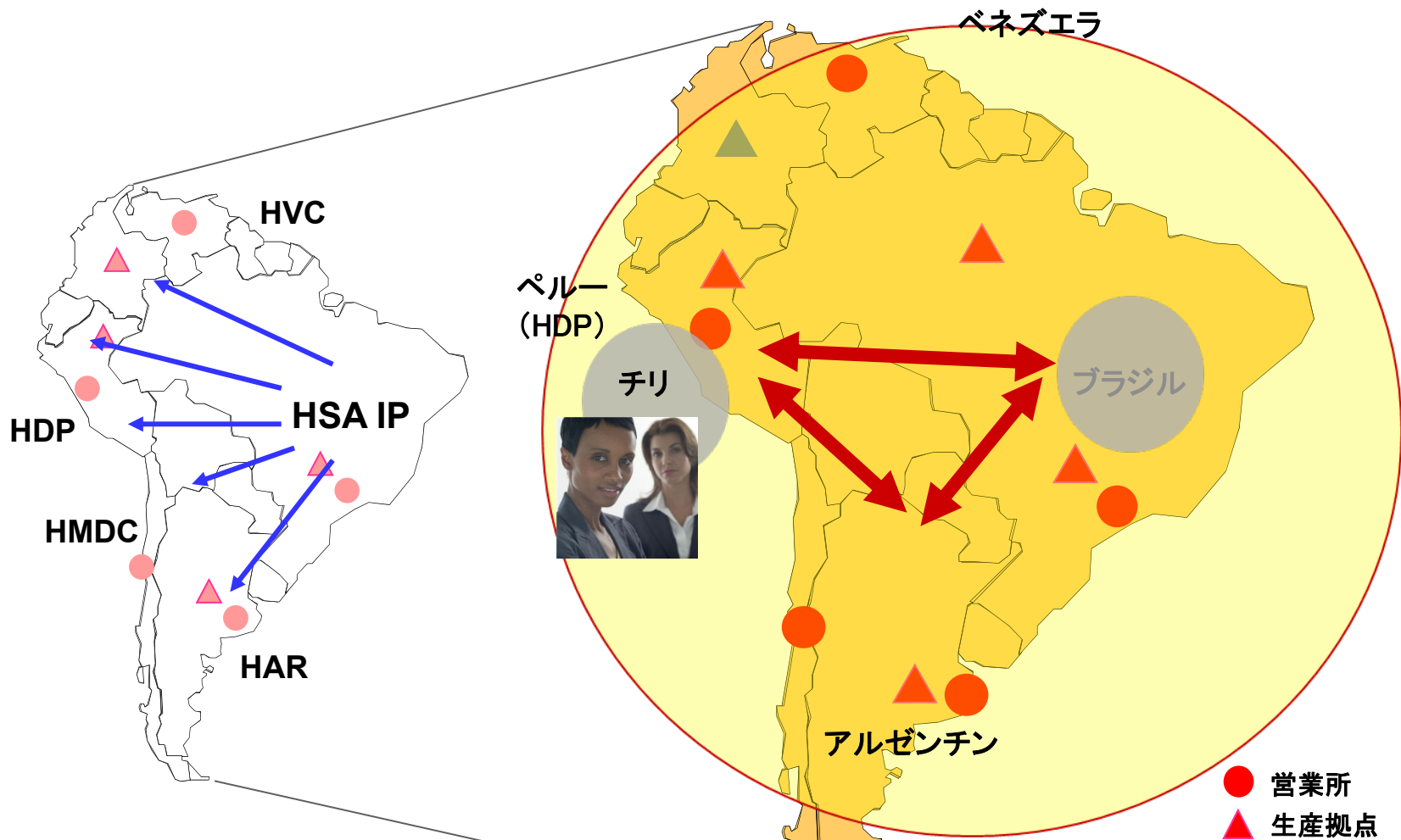
日本へ逆駐在派遣：

- ・基本は現地業務を中心とした同様の業務を日本でも展開する
 - ・日本本社の知財全般の業務で、帰任後役立つ業務にも従事させる
- 本人のモチベーションと日本語の能力が成功の鍵となる

南米駐在員の業務内容

- 不正商品対策 コピー品監視網の構築 | 警告対応 | 訴訟対応 (特・意・商標・不正競争)
水際戦略 | 戦略的知財広報 | 侵害者による謝罪広告
ロビーイング活動 (不正商品対策関係)
- 意匠 中南米地域出願選定基準、個別案件出願国の提言
- 契約 ライセンス契約締結・登記 | 技術サービス契約締結・登記
その他各種契約
- 渉外活動 ブラジル技術移転・外貨送金規制
- ブランド ガイドライン普及活動 | 遵守状況モニタリング チェック
中南米現地法人普及活動
- 商標 クリアランス | 他社不当権利対応 | 権利化ルート確立
- ドメインネーム 不正登録・使用対応 ドメインネーム統一・管理規則導入
- 不正競争 他社による不正比較広告対応
- 啓発活動 関連会社知財セミナー等の社内啓発活動

- 南米全体 知財リエゾンネットワークの構築



南米案件：全てブラジルから遠隔対応
→
更に現場に密着した対応でより効率的、スピーディーに対応

主要現法知財力の強化

→

企業比較①

100年の歴史を持つ欧州企業

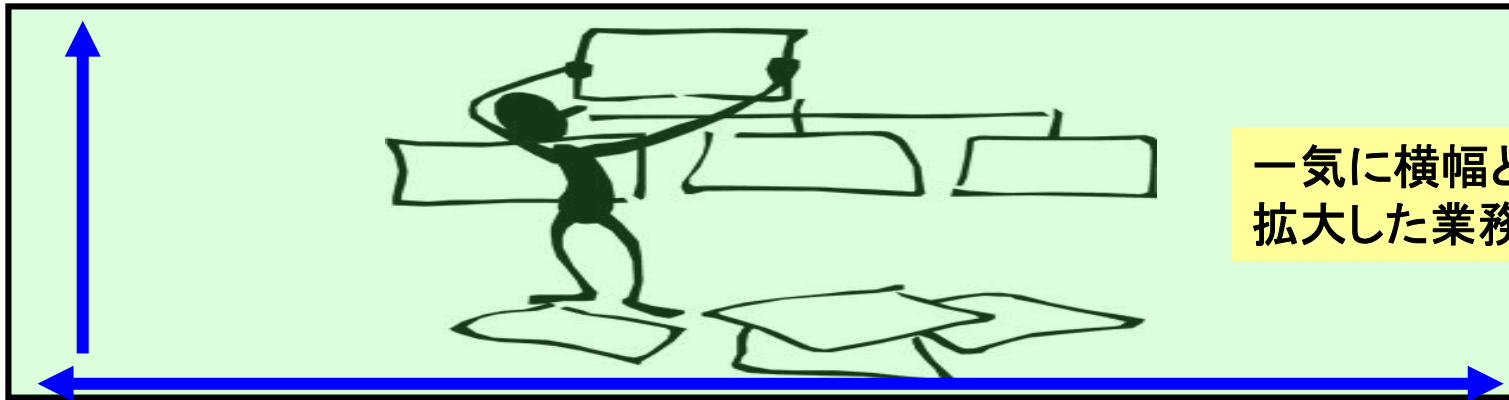
- ・企業規模: 大
- ・知財組織: 階層化と狭い業務範囲 (上層階、水平階の業務の重なり無し)
- ・業務範囲: 明確、狭量、深化



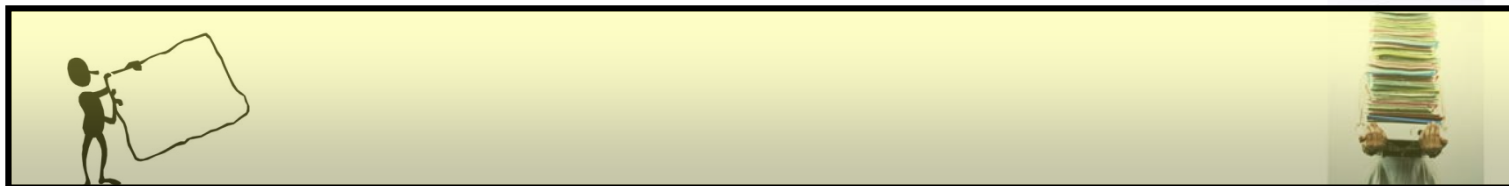
企業比較 ②

60年の歴史を持つ欧州企業

- ・企業規模： 小
- ・知財組織： 小組織と幅広い業務範囲
- ・業務範囲： 明確だが必要な事は全てやる、広範囲、



一気に横幅と高さが
拡大した業務範囲



グローバル知財人材理想像:

日本:

知財領域の中で、複数以上の専門領域で高度な知識経験を有し、海外での係争訴訟、契約交渉、渉外活動に従事できる人材。
当然、一定以上の語学力も必要となる。

海外:

知財領域の中で、複数以上の専門領域で高度な知識経験を有し、知財に関する全般的な知識と、弁護士等のプロフェッショナル人材をマネジメントできるだけの語学力とコミュニケーション能力を兼ね備えた人材。縦型・横型のマネジメントの差、異文化コミュニケーションに柔軟な姿勢と考えを発揮できる事が望ましい。